



語字英原田 観

No. 676

2012/8/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西目黒1-1-1807201室

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

「辛亥革命100周年」日中倉敷の取り組み

2012年7月15日

はじめに

昨年(2011年)は中国の辛亥革命100周年に当たった年でした。この革命によって、中国では2000年間にわたった君主専制政治を倒し、アジアで最初の共和国家を樹立、変革への一歩を踏み出しました。

民主主義」とは何か、その孫文の辛亥革命を支援した1000人を超える日本人の実像、なかでも郷土の政治家、犬養毅(木堂)と孫文の交流は興味深いものでした。

中国の「国父」と呼ばれ、この国民革命のリーダー孫文の「三

この問題で日中友好協会倉敷支部は、孫文記念館や木堂記念館の見学、中国問題文化講演会などに取り組み、この5月には、中国広州に新設され

生の「ありのままの中国の生活と文化」と題して行われ、好評のうちに終わりました。

10月11日の第4回理事会ではこの成果を踏まえて第8回文化講演会のテーマを協議しまし

た。折りから中国北京の人民大会堂では「辛亥革命100周年記念大会」が行われていて、胡錦濤国家主席が孫文と辛亥革命について演説をしたばかりでした。理事会では協議の結果、次回の文化講演会のテーマは今年が辛亥革命100周年に当たるので、「辛亥革命100周年」とする方針を決めたのでした。

中国旅行の行き先

さつそく講師として神戸の孫文記念館安井三吉館長宛に手紙とメールで依頼状を出しました。しかし、残念ながら安井館長の都合がつかず断念せざるを得なくなりました。

2011年10月8日には第7回国問題文化講演会が、医療生協水島歯科診療所の金蘭(テン)先

(経過)

11月15日の第5回理事会では、講師については引き続き探すことにしとりあえず神戸の孫文記念館を見学することを決めました。



広州の辛亥革命記念館の前で

12月2日に11人の会員で神戸東舞子の孫文記念館を訪れ、孫文の活動と多くの日本人支援者の存在に感動しました。

これらの経過のなかで、来年5月に予定している中国旅行の行き先を、この10月にオープンしたばかりの広州の辛亥革命記念館と桂林にすることにしました。

木堂記念館訪問

第8回文化講演会では、講師で難航しましたが、やむなく栗本理事長が担当することになり、岩波書店から出た孫文の「三民主義」と「孫文革命文集」をテキストにして学習講演会とす

ることにしました。

3月18日には「犬養木堂記念館」を訪れ、佐藤館長から木堂と孫文の交流について説明を受けました。そして5月に

広州の「辛亥革命記念館」を訪れる際、今年が日中国交回復40周年でもあり木堂記念館と辛亥革命記

念館との交流を希望する旨のメッセージを依頼しました。館長もこころよく応じられ、私たち訪問団にそのメッセージを託されました。

学習講演会に40人

2012年4月7日の「孫文と三民主義」の学習講演会には、予想を上回る約40人が参加しました。

学習講演会では、孫文の「三民主義」の概説とともに、孫文の略年譜、木堂の略年譜が配られ、辛亥革命の意義とともにそれぞれの生涯の活動が紹介されました。犬養木堂は保守的な政治家ではあったが、ことアジアに関しては友好的な識見を持ち、

当時の軍部のアジア侵略をめざした横暴と対立していました。

そのことが5、15事件に発展し、ついに暗殺された顛末が紹介されました。また、孫文の日本観や木堂の「孫文の思い出」などが紹介され、好評のうちに終わりました。

辛亥革命記念館へ

そして、5月12日から16日までの中国への旅には、倉敷支部と岡山支部から16人が参加して出発しました。

5月13日、広州の辛亥革命記念館では、広州市黄埔区人民政府外事弁公室、周朋娟さん(館長)おなじく外事弁公室、何清声さん(副館長)の出迎えを受けました。

岡山からの訪問団は「孫文さんの日本でもっとも古い友人である犬養木堂の出身県、岡山県の日中友好協会から来た」と自己紹介し、まず木堂記念館の佐藤館長からのメッセージを届け、今後の交流を希望しました。相手側からは「近々、日本へも行く予定があるので今後の交流を期待する」と返事がありました。そのあと館内を見学し、今後の友好を誓いながら約2時間にわたる訪問を終えました。



神戸東舞子の孫文記念館前で

高島日本語教室・工場見学

「ビールは、旨いぞわー!」



試飲コーナーで干杯をする参加者

高島教室では久しぶりの課外学習をと、7月3日、15人が参加して、ビール工場、ワイン工場の見学に出かけました。

小雨が降りしきる中、5台の車に分乗していざ出発。途中、霧にかすむ山々がどこことなく中国の山に似ているようだ、話が弾みました。目的地のキリンビールパークでは若いガイドさんが、はつきり、ゆつくり、丁寧に説明され、おかげでみんなよく理解できたと思います。

何より日本語・中国語両方のパンフレットが用意されていたことには、「さすが!」の一言が。みんなのお楽しみは試飲コーナー。勧められて一杯口に含んだとたん、笑顔が広がり、弁舌さわやかに。鼻歌まで飛び出る人もいました。

次に向かったのは英国庭園、バラの見ごろは終わっていたものの、雨の中、ひっそりと咲く小花たちが迎えてくれました。円卓を囲んでおしゃべりしながらいただいたパンのおいしかったこと。その後、近くの赤坂ワイナリー、JA市場へ寄って帰途につきました。いつもの教室ではな

んとなく緊張気味なみんなも、日本語、中国語入り乱れてのおしゃべりが弾み、はじけるような笑いに包まれて、楽しい一日となりました。

成田宜子

娘の結婚

稲葉素子

私の娘は、1975年3月21日産まれ、現在37歳です。今年5月の佳き日に、彼の元へ

嫁いで行きました。

娘を見守り、応援する私の姿勢は新しいステージに入りました。

予定日より2ヶ月も早く産まれ、ハンデイを背負ってしまった娘ですが、生きる力を最大限に発揮できたようです。

思えば、37年間は長い道のりでした。当時、娘の将来の幸せを考えた時、2つの道を見据えました。

1つは、社会の仕組みが変わらない限り幸せは来ない。財産よりも制度を残そう。

2つ目は、歩いてほしい、できれば、社会的な自立を、という

事でした。

1つ目は現在進行中です。2つ目について、どんな障害が重くても育つ道すじは障害のない人と同じで、発達し、克服しよう」という考え方に出会えた事は衝撃的で一筋の光が見えました。

田中昌人先生の「乳幼児期前半・後半」の本を読み、その時期に獲得する力はどんな事があるのか、そして、今持っている力をあせらず、しっかりと行う事が次ぎの新しい力を得ることができるといふ教えを学んだ時、もう迷いはありませんでした。

今から思えば、多動を克服する、視線が合うようになる、というところから始まったような気がします。

「ことば」についても、しっかりと歩く事と絵本の読み聞かせをたづふりしました。

高校受験も就職も失敗の連続でしたが、どの段階でも、自分の力で乗り越えてきました。

私はいつも見守り。そして、乗り越える事ができたのは、悩みを聞いてくれる仲間がいたからでしょう。

つづく

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか?

22

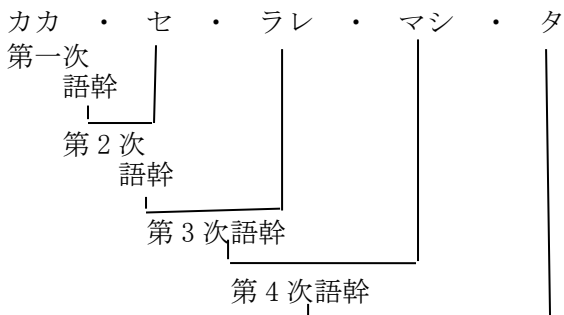
竹内和夫

語尾について (2)

A: Cさんが再活用といったのが、おもしろい。(書いた)や(書いて)は動作の完了や継続といった自分中心の見方なのに、(使役・受身・丁寧)は他人との関係で自分の態度をあらわしているようだな。《いいぞ!》

B: こういうのを使役態、受身態、丁寧態といってもいいのかな?

C: 名案だと思うよ。それに、語幹が広がっていくというか……つぎつぎに新しい語幹が。



完了語尾

《新しい語幹を作り出すことを派生と呼ぶことにしよう。どうやら派生語尾と活用語尾を区別できそうだな。》

動詞の派生には次の3種(a b c)がある。

a) 丁寧形(マス)を派生させる:

			5	1	する	来る
勧誘・意志			カキマシヨ ^ウ	ミマシヨ ^ウ	シマシヨ ^ウ	キマシヨ ^ウ
終止 (※)	不完了	肯定	カキマ ^ス	ミマ ^ス	シマ ^ス	キマ ^ス
		否定	カキマセ ^ン	ミマセ ^ン	シマセ ^ン	キマセ ^ン
	完了	肯定	カキマ ^{シタ}	ミマ ^{シタ}	シマ ^{シタ}	キマ ^{シタ}
		否定	カキマセ ^ン デシタ(2語)	ミマセ ^ン デシタ	シマセ ^ン デシタ	キマセ ^ン デシタ

(※)連体形はほとんど使われない。

A: いっしょに絵を見ましよう。

B: あした、また来ましようか。

C: とうとう、彼は来ませんでした。

でも、わたしは後悔ませんでした。

字をおしえるな、ことばをおしえよ!



つづく

次回の新聞送作業は
8月10(金)午前10時
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

稲葉 吹
小林 和
竹内 和
竹内 袈